

自助力の向上と自主防災組織の機能強化を目的に、自主防災訓練が行われました。6町内会の30名と南消防署星崎出張所5名・笠東消防団5名が参加しました。訓練は、

1. 能登半島での災害を知る、2. 自主防災組織が具体的にやるべきことを知る、
3. 災害図上訓練(DIG)を行い地域のリスクを共有する、の3つの内容で行われ、知識を深め、情報を共有し、真剣に議論しました。

当日は雨模様でしたが、消火・救助訓練は雨の合間に行うことができました。



▲消防署員による能登半島地震の報告

DIGに取り組む



▲ハザードマップを見ながら、危険個所のチェック、予想される災害と対策などを話し合い、町内の地図上に書き込んでいきました。危険をリアルに想像できたそうです。

町内ごとに発表



▲DIGを行うことで気づいたことや、避難の仕方、避難場所など具体的に話し合った内容を町内ごとに発表しました。町内間で情報共有する機会になり、それぞれの課題を考える機会にもなりました。

消火・救助訓練



▲消防署・消防団の協力により、消火訓練と救助訓練を行いました。消火器の使い方、ジャッキの使い方、助け出しお方、担架の作り方など、やってみないと分からぬとの感想が聞かれました。

参加者の声

- ・楽しかったし、勉強になった。家の中の防災対策を家族でやっていきます。（小3）
- ・防災に興味があり、普段から家の備えについていろいろ言っています。（小3の母）
- ・地域の危険や自分を守ることの難しさと大切さを知ることができた。みんなに知ってもらい、安全な地域にしていきたいと思った。

主催者の声

- ・消防団ではDIGの訓練をしていて、町内でやりたいと思っていたので良い機会になった。
- ・これは初めの一歩。地域に持ち帰り、周知して、具体的な行動につなげてほしい。
- ・地形の成り立ちから、気を付けること・対策などを具体的に話し合えた。続けていくことで、より具体的な対策につながると思うので、是非今後も取り組んでいってほしい。